

3年連続1万頭販売

新ブランド基準を策定

茨城県常陸牛振興協会

常陸牛は2022年度、生産者の結束と茨城県常陸牛振興協会の尽力により、3年連続で販売頭数1万頭を達成した。

本年度は4年連続1万頭越えを目指し掲げ、夏ごろに新ブランド基準のメディア発表会を開くほか、関西初の常陸牛販売指定店を核に同地域での消費拡大を図る。

日本全国でも数ブランドしかない1万頭越えを3年連続で実現できたのは、常陸牛を生産する中核農場に確かな後継者がおり規模拡大に取り組んでいること、和牛の増産意欲をもつメガファームが頭数増に寄与したこと

が要因にあげられる。また、素牛価格が高止まりしている中で、繁殖と肥育の一貫経営に挑戦する生産者も貢献した。1万頭というボリュームの説得力で量販店へ安定

数量を確保できる裏付けとなり、仲卸業者からも高評価を受けた。

仲卸業者やシェフなど専門家同士の情報交換を通じて常陸牛の価値が知られるようになり、ホテルなど顧客の方から常陸牛フェア開催の要望が寄せられるようになつた。